

2024 年 5 月 20 日～2026 年 5 月 31 日の間に当院地域包括ケア病棟に入院され
承認番号:6403-02「地域包括ケア病棟患者における身体活動量の関連因子の
探索と臨床的影響の検討-多職種協同による実態調査-」に
研究参加された方及びご家族の方へ

—「地域包括ケア病棟患者における包括的栄養評価と機能予後との関連：後ろ向き観察研究」への
ご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	高齢者医療センター	リハビリテーションセンター	理学療法士	篠永 篤志
研究分担者	高齢者医療センター	リハビリテーションセンター	理学療法士	岡田 裕
	高齢者医療センター	リハビリテーションセンター	理学療法士	山下 ひとみ
	高齢者医療センター	リハビリテーションセンター	理学療法士	濱口 雄喜
	高齢者医療センター	リハビリテーションセンター	理学療法士	江崎 悠太
	高齢者医療センター	リハビリテーションセンター	言語聴覚士	植谷 利英
	川崎医科大学	リハビリテーション医学教室	講師	安永 雅
	高齢者医療センター	高齢者総合診療科	准教授	角谷 裕之
	高齢者医療センター	高齢者総合診療科	教授	杉本 研

1. 研究の概要

本研究では、地域包括ケア病棟に入院された患者さんの診療情報や研究で収集したデータを用いて、食事の摂取状況や栄養状態、口の機能や飲み込む機能などと、身体機能、日常生活動作や退院後の経過などとの関連について調査します。本研究で得られた知見は、地域包括ケア病棟における栄養管理やリハビリテーション医療の質の向上に役立てることを目的としています。尚、本研究は、『地域包括ケア病棟患者における身体活動量の関連因子の探索と臨床的影響の検討-多職種協同による実態調査-（承認番号：6403-02）』のデータを二次利用した研究課題として位置づけられます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2024 年 5 月 20 日～2026 年 5 月 31 日の間に川崎医科大学高齢者医療センターに入院され承認番号:6403-02「地域包括ケア病棟患者における身体活動量の関連因子の探索と臨床的影響の検討-多職種協同による実態調査-」に研究参加された方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2027 年 3 月 31 日

3) 研究方法

承認番号:6403-02「地域包括ケア病棟患者における身体活動量の関連因子の探索と臨床的影響の検討-多職種協同による実態調査-」の研究で取得した食事の摂取状況や栄養状態、口の機能や飲み込む機能、身体機能、日常生活動作や退院後の経過のデータを用いて、それぞれの関連について検討を行います。

4) 使用する情報の種類

承認番号:6403-02「地域包括ケア病棟患者における身体活動量の関連因子の探索と臨床的影響の検討-多職種協同による実態調査-」の情報：年齢、性別、身長、体重、栄養状態、食事摂取量、口腔機能、嚥下機能、身体機能、退院後の経過について（再入院、転倒の有無）等

本研究は承認番号:6403-02 の研究で取得したデータを用いて行うため新規でデータを取得することはありません。

5) 外部への情報の提供

この研究に使用する情報は、以下の共同研究機関に提供させていただきます。提供する情報は、個人を特定できる情報を削除し、研究用 ID を付与した匿名化データとします。匿名化したデータは、パスワードを設定した電子ファイルとして共同研究機関へ電子メールで提供します。パスワードは電子ファイルとは別の方法で通知し、情報は適切に管理します。

北海道医療大学リハビリテーション科学部 教授 永見慎輔

6) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学高齢者医療センターのリハビリテーションセンター内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026 年 12 月 31 日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学高齢者医療センター リハビリテーションセンター

氏名：篠永篤志

電話：086-225-2112 内線 41500（平日：8 時 30 分～17 時 00 分）

ファックス：086-225-2110

E-mail：a-shino-reha@hp.kawasaki-m.ac.jp

<研究組織>

研究代表機関名 川崎医科大学高齢者医療センター リハビリテーションセンター
研究代表責任者 理学療法士 篠永篤志

共同研究機関

北海道医療大学リハビリテーション学部 教授 永見慎輔

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。